

# 平成23年度事業報告書

NPO法人ミニシティ・プラス

私たちのNPOも、設立4年たちました。こどものまち「ミニヨコハマシティ」を5回行いました。2011年に行う予定だった、5回目が震災で中止になったことで、運営にかかわった子どもたちとともに、深いままでのまちを振り返り、「原点回帰」をキーワードにかけました。そして、シティからビレッジへと変化することになり、畑作業にもトライしてきました。その成果のひとつとして、昨年、横浜トリエンナーレ連携企画の中の新港村に、ミニヨコアートビレッジのプロジェクトで参加しました。

また都筑区を中心に行ってきたこどものメディア、ジュニア編集局は、こども放送局にもチャレンジしました。つづきジュニアタイムズは、2万5千部発行し、都筑区内の小中学校全児童生徒に配布され、地域のメディアとして周知されて、期待されるようになってきました。

さらに23年度の終わりから24年度にかけて、神奈川との協働事業、新しい公共「神奈川特命子ども地域アクター養成アクション」を行っています。23年度は主に推進会議の設置とその会議での事業の検討、広報、特命子ども地域アクターの公募を中心に行いました。

23年度は今までの記録を電子本にまとめる作業を、JTの助成金を受けて、行いました。電子本の記録がよいハンドブックとなって、いくことができれば、それが私たちNPOの存在意義でもあります。私たちは理念の通り、「まちづくり」を通して、大人も子どもも、生まれてきたすべての人が、社会の大切な一員であることをお互いに認め合い、助け合っ

てこそ、より良い社会がつくられるということ、楽しみながら学んでいくことを今後も目指していきます。

NPO法人ミニシティ・プラスが今年度おこなってきた主な事業は以下のとおりです。

---

## 特定非営利活動に係る活動

①こどもが創るまち「ミニシティプログラム」の研究、開発に関する事業

### ◆ミニヨコアートビレッジ

内容)トリエンナーレ連携イベントへの参加&日々の畑作業維持等

実行期間)2011年5月~2011年12月

NPOからの従事者)10人

8月10日、12日~14日新港ピア会場でミニヨコアートビレッジを開催。

子どもたちが5月から育ててきた野菜を会場にレイアウトし、野菜スープなどをつくり、そこに村を創り、遊ぶというイベントを行った。建築家遠藤幹子氏や横浜建設業青年会とのワークショップなどを経て村が創られた。

最終日、全国のこどものまちで活躍するU-19(アンダーナインティーン)の青少年のシンポジウムが会場で開催され、こどものまちの活動の紹介やこどもが主体的にかかわることの意味や意義、さらにはそれらの活動を本物のまちにどう生かしていけるか?についてディスカッションした。

### ◆ミニヨコ夏祭り

内容)毎年行っているミニヨコの夏祭りを3月のリベンジもかねて、7月16日17日に行った。

実行期間)2011年7月16日、17日(ただしこの日程に準備は含まれてない)

NPOからの従事者)10人

3月に予定していたミニヨコイベントが、震災の影響で中止になり、ミニヨコ夏祭りとして開催した。2日で2000人以上(そのうち、こども1500人程度)が訪れ、にぎわいを見せた。この夏祭りは、子どもたちが中心になり企画し、実行した。

### ◆ミニヨコへおいでよ

内容)毎年行っている春休みのミニヨコイベント。

実行期間)2011年3月10日、11日(ただしこの日程に準備は含まれてない)

NPOからの従事者)10人

昨年震災の影響で開催できなかった春休みのミニヨコイベントを今年はまさに震災の1年後に開催。災害に強いまちミニヨコをテーマとしたワークショップなども行った。今回より、市長選挙は行わず、市議員を4名選出した。今回はこのミニヨコの中で電子本プロジェクトの紹介や、つづきジュニア編集局の展示、ジュニア放送局の開催なども連携して行い、盛りだくさんなイベントとなった。1日1500人以上の方が訪れ、大盛況となった。

## ②「ミニシティプログラム」の普及・啓発に関する事業

### ◆ミニヨコ記録電子本プロジェクト(含む U-19 シンポジウム)

内容)いままでのミニヨコこどものまちの記録をつくり、電子書籍にし、発表。

実行期間 2011 年 4 月～2012 年 3 月

NPOからの従事者)5 人

過去の記憶をたどり、エピソードを思い出すワークショップを開催、その後、8 月の U-19 シンポジウムでの全国のまちの活動のヒヤリングやその後のこどもたちへヒヤリングなどを重ね、また、いままでの写真やビデオなどのアーカイブをまとめ、電子本(e-pub)が完成した。今後電子本を広く広報していき、多くの方にこどもが主体となり活動するミニシティの魅力について知って欲しい。また実際に行いたいと思っている人たちへのお役に立ちたいと考えている。

## ③地域まちづくりの活性化を目指したイベントの企画・運営に関する事業

### ◆つづきジュニア編集局

実行期間 2011 年 4 月～2012 年 3 月

内容)こどもたちの目線で、まちを取材し、情報発信。まちのファンを増やし、まちづくりに役立てる。

新聞発行、発表会。夏休みは、こども放送局を立ち上げる。

NPOからの従事者)3 人

今年度は記者 40 名でスタート。途中事情で参加できなくなることもがいたため、最終的に 32 名で終了した。昨年 4 ページだった紙面を 8 ページに増やし、掲載記事も倍増した。都筑区内の小中学校全児童生徒配布を中心に 2 万 8 千部を配布。広告での協賛も拡大した。

## ④その他の事業

### ◆神奈川県青少年問題協議会からの提言検証に関する委託

内容)同協議会が出した提言「こどもの社会参画を推進するための 11 の視点」の検証を行った。

実行期間 2011 年 5 月～2011 年 9 月

NPOからの従事者)3 人

こどもが社会参画を推進する活動のモデルとしてミニヨコのこどもたちの発言等まとめ、報告した。また、それらを発表するフォーラムの企画の一部を担った。

### ◆新しい公共「神奈川特命子ども地域アクター養成アクション」

内容)こどもと大人がともに社会参画できる地域基盤を目指してのモデル事業です。

中学高校生を中心に、まちづくりの勉強を受けてもらったあと、まちづくり現場へのインターンシップを行い、青少年の力がいかにまちにとって大切か、どのようにいかしていくとうまくいくのかについて、検証し、12 月のフォーラムで発表する予定です。

実行期間 2012 年 1 月～2012 年 3 月

神奈川との協働事業です。推進会議を組織し、その事務局を担っています。23 年度は主に推進会議の設置とその会議での事業の検討、広報、特命子ども地域アクターの公募を中心に行いました。24 年度の本格活動に向けて、ホームページやイントラネットなどの整備も行いました。